

## 会 議 要 旨 書

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 第4期三鷹市生涯学習審議会第4回定例会<br>第33期三鷹市社会教育委員会第4回定例会                                                                                    |
| 日 時                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 令和6年4月26日（金） 18時30分～20時30分                                                                                                     |
| 場 所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 三鷹市生涯学習センターホール                                                                                                                 |
| 出席委員<br>（14人）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 田中雅文 矢崎喜美子 齋藤智志 青木玲子 間部豊 小林七子 永田和昭<br>和田光広 進邦徹夫 藤橋初美 富澤昌人 加藤綾子 井上翔太 千田妙子                                                       |
| 欠席委員<br>（4人）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 廣瀬圭子 生田美秋 澤田達也 東山昌央                                                                                                            |
| 行政職員<br>（8人）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | スポーツと文化部長 大朝摂子<br>スポーツと文化部調整担当部長 平山寛<br>教育部調整担当部長・総務課長 齊藤真<br>生涯学習課長 八木隆 芸術文化課長 井上仁<br>三鷹市立図書館長 大地好行<br>生涯学習課主査 中西崇郎 同主任 齊藤満里奈 |
| 会議の公開・<br>非公開                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 公開                                                                                                                             |
| 傍聴人数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 0人                                                                                                                             |
| <p>1 開会</p> <p>（事務局より人事異動、委員の出席状況、傍聴者の有無、会議要旨の公開について報告し、配付資料の確認を行った。）</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 社会教育関係団体補助金等の支出について</p> <p>【事務局】社会教育関係団体補助金等の支出については、社会教育法の第13条に定められている、「社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、社会教育委員の会議等の意見を聞いて行わなければならない」という規定に基づき、社会教育委員の皆様にご意見をお伺いするものである。補助金の詳細については、各担当課よりご説明させていただく。</p> <p>ア 三鷹市芸術文化協会</p> <p>芸術文化課長より、説明を行った。</p> <p>【会長】ご意見やご質問はあるか。</p> <p>【委員】補助金の中で一番ボリュームがあるのは振興事業費だが、870万円超ということで、会場を借りる料金がかかるということか。</p> <p>【芸術文化課長】市民文化祭事業というところが金額としては大きく占めており、会場の使用料や展示物などの設営をする委託料が220万円ほどかかり、それが主な費用である。その他、審査員等への謝礼や消耗品などがこの中に含まれている。あとは、年に1回発行している「三</p> |                                                                                                                                |

鷹の芸術文化」の金額が含まれている。

【委員】昨年度 800 万円近くかかっている事務局経費が、今年度は 0 円になっているが、どのような理由か。

【芸術文化課長】昨年度までは芸術文化協会です事務局職員を雇用していたため人件費が発生していた。今年度からは事務局機能を三鷹市スポーツと文化財団に移行することとなり、スポーツと文化財団で人件費を確保することとなったため、芸術文化協会の予算額は 0 円になっている。

イ 三鷹市文庫連絡会

三鷹図書館長より、説明を行った。

～意見なし～

ウ 自主グループ講師派遣事業

生涯学習課長より、説明を行った。

【会長】昨年度と比べて、申請団体数は増えているのか。

【生涯学習課長】自主グループについては、4 団体増えている。高齢者自主グループについては、1 団体減っている。障がい者自主グループについては、昨年度と同数である。

【会長】コロナの時期に数が減って、また戻ってきたという捉え方でよいのか。

【生涯学習課長】その通りである。

【委員】講師派遣事業に申し込むためには、事前に生涯学習センター等で登録しておくことが必要なのか。

【生涯学習課長】不要である。

【委員】任意で団体として存在していればよいということか。

【生涯学習課長】その通りである。

【委員】実施要領に派遣予定団体数を超えた場合は抽選を行うとあるが、派遣予定団体数というのは、あらかじめ数字が決まっているのか。

【生涯学習課長】予算の範囲内で派遣予定団体数を決定している。

【委員】自主グループと高齢者自主グループの両方に申込しているグループがあるとのことだが、それは問題にならないのか。

【生涯学習課長】各実施要領の条件に当てはまれば、問題はない。

【事務局】自主グループ及び高齢者自主グループの両方に申請されている団体について、両方に当選するということはない。例えば、高齢者自主グループで当選した場合、自主グループについては落選となる。

【委員】自主グループ及び高齢者自主グループの各実施要領に、特定の政党の利害に関する事業や特定の宗教を支持する場合の場合は派遣対象としないとあるが、活動内容についての報告会や内容の審査はされているのか。

【生涯学習課長】内容について確認をしている。

【スポーツと文化部長】市民の皆様の中で対立する意見があるような内容の場合には、どちらかに偏った内容とならないようにしていただいている。

(2) 第 5 次三鷹市基本計画（2 次案）について

生涯学習課長より、修正内容等について説明を行った。

【会長】大きいタイトルが「人財の育成と「学びと活動の循環」の推進」となっているのに対し、(2)の内容が学んだ成果を地域社会に還元するという一方向だけになっていた。実際には、地域社会に還元した後、またそこから新しい学習課題が出てきて、また学びにいくということもある。学んだらまた活動して成果を生かし、またそこから新しい学びが生まれるという循環があるので、そのような内容に修正していただいた。

### (3) 三鷹市生涯学習プラン 2027 について

事務局より基本的な考え方及び体系等について説明を行った。

【委員】基本施策 4 の「つなげたい」について、わかりやすい情報の提供とあるが、年代によって「わかりやすい」の中身が変わってくると思う。また、重点施策の K P I に「SNS による情報の発信件数」を指数として挙げているが、発信件数よりも何件閲覧されたか、それによって契約が何件取れたかというインプレッション数で評価をしていくと思う。外国籍の方にとっての「わかりやすい」だと平仮名表記、小学校低学年でもわかる日本語の使い方、若年層だと、自分の将来、例えば大学入試に役立つこととか、そういう情報が「わかりやすい」になってくると思う。20 代後半、30 代だと子育てについてというのがわかりやすい、人生にとってわかりやすいというようなことにもなるし、高齢者の方にとってはきっと SNS の活用よりも紙媒体のほうがわかりやすいと思う。具体的にどこの層に、どのようにアプローチを取るのかというところで、K P I の SNS という目標達成率も変わってくると思う。

【スポーツと文化部長】K P I をどのようなものに設定するかというのは、この後、プランが正しく進行しているか、目標どおりに進行しているかということの評価するときにとっても重要になってくると思うので、どういうものに設定していくべきかということをぜひご議論いただきたい。今日ご意見をいただいた中で、今後の審議会において、実際に指標にするものを提示したいと思うが、その一方で、定期的に収集できる数字でないと、K P I に設定するのは難しいということもある。ページビューのように定期的にとれる数字があれば、それを指標にすることができると思うが、その数字の収集が不安定なようであれば、安定的に取れる数字に置き換えていかざるを得ないところもある。

わかりやすい情報というのも、世代別の対応、また、生涯学習の初心者の方とベテランの方、年齢に限らず生涯学習の場での経験が豊富な方とでは違うので、その方々に合った情報提供をする必要があるという課題は認識している。

【委員】総論の第 2 部の 2 「計画の基本的な考え方」(5)「学校・家庭・地域との連携の推進」に「子どもの生涯学習」とあるが、具体的に子どもの生涯学習というのはどういったことを想定しているか。

【事務局】これまでの審議会の中でも、生まれてから亡くなるまで全てが生涯学習であるといったご意見をいただいたり、また、生涯学習センター利用者懇談会の中でも、三鷹市における子ども向けの講座が少ないというご意見をいただいたりしている。子ども向けの講座等を実施することで、学びにつなげて、そこから子どもがいろいろな地域社会に興味を持つことができるようなきっかけをつくれたらと思っている。

【委員】例えば学校 3 部制の 2 部でやっている地域子どもクラブなどの学びの場などのこと

か。「学校・家庭・地域との連携」の中に「子どもの生涯学習」とあったので、具体的にはそういうところのことを言っているということで合っているか。

【教育部調整担当部長】学校3部制における2部において、地域子どもクラブ、また学童保育所などがあるが、そういった中で学習機会を設けたらどうかという意見もあるので、2部のところで子どもの学習の視点も今後加えていけるのではないかという趣旨である。

【委員】資料3-1に「スクール・コミュニティ」の発展及び「学校3部制」の推進を図ることで、大人と子どもの学びあいを促進し」とあり、資料3-2にある「学校・家庭・地域との連携」のKPIを図る指針として、「学校3部制」の3部の利用者及び事業参加数とあるが、現段階では3部はまだ実際に動いていないというか、これから3部に取りかかって発展していくと考えると、今の時点でKPIの指標にこれを入れてしまうと、指標として測るには心もとないのではないかと思います。そのため、他の視点でも「学校・家庭・地域との連携」の活動や学びの場というのはあると思うので、例えばCSでやっているような学びの場とか、そういったところも入れたほうがよいのかもしれないと感じた。

【スポーツと文化部長】これからの4年間でモデル事業をやって、それがどのように定着するかということ測っていく段階であり、全ての学校において活性化していく途上にあるという状態だと思う。その状態の数値を出していくこと自体も意味があるとは思いますが、一方で、もう少し違う視点でKPIを設定するということは当然あると思うので、例えば子どもの学びということに着目したKPIを設定するとか、そういうことはあり得ると思う。どの数字であれば定期的に取りれるのか、例えば教育部や子ども政策部に協力をお願いして取りれる数字には何があるのかなど、そういうことは確認していきたい。

【副会長】前回の意見書で、「学校3部制」については慎重に進めていくべきであろうという意見を述べている。なので、そこを飛び越えていきなりこれが成果に結びつくような件数だけを取っていくような形というのは、その前にもっと越えなければならない課題が「学校3部制」の3部のところにはあると思う。あわせて、「学校3部制」の連携については、2部のところでは部活動がとても課題になっていて、中学校の部活動がどのように地域の講師を導入して、どのように部活動が開放的に、より自由な子どもたちの活動になっていくのかという、そのKPIが必要ではないかなと思っている。

【委員】「学びと活動の循環」について、プラン2022では「構築」になっていて、プラン2027では「推進」になっているが、「構築」はすでに終了したので、次は「推進」の段階になったという認識でよいのか。

【事務局】その通りである。

【委員】「みたか地域ポイントの活用」について、具体的にどのような活用の仕方を考えているのか。また、みたか地域ポイントは現在どの程度流通し、市民に活用されているのか。

【スポーツと文化部長】みたか地域ポイントの活用については、新しい視点として記載している。みたか地域ポイントは、今年度から本格運用の段階に入っている。まだいろいろな活動に使っていただくという段階までは来ていないが、アプリの構築が終わり、付与する活動について今年度から格段に増やしている。一番大きく変わったのは、試行の段階ではプラザの利用料に換えられるとか、記念品がもらえるととか、そういうお金との兌換をあまりしないということ

で運用してきたが、昨年度末ぐらいから、一般のお店での活用もできるというような、ポイントの利用機会を増やすという段階に入っている。それとあわせて、ボランティアにもポイントを付与して、ボランティア活動してみようかなとか、何か自分で活動してみようかなというインセンティブに使っていただくというような段階に進んできている。

【副会長】前回の意見書で、「学校・家庭・地域との連携」においてはコーディネートが非常に重要であるという意見が出ていたと思うが、新たな視点にある「コーディネート機能の強化」という項目は、具体的に施策の中のどこに盛り込まれていくのか。

【スポーツと文化部長】個別の具体的な施策の書き込みをまだしていないため、具体的に入るべき箇所について、ご提言をいただけると助かる。

【副会長】コミュニティ・スクール推進員ができて、そのような活動も活発になってきていて、そこに果たすべきコーディネートの役割を、もう少し具体的に市から視点として出していただくというのも大事ではないかと思う。

【スポーツと文化部長】例えば、教育委員会の活動としてのコミュニティ・スクール推進員の部分と、生涯学習の分野でそれをどのようにプランの中で記載するかということの間には、多少役割分担があるべきではないかと思う。

【会長】コインの表裏のように、こちらから見れば生涯学習課、こちらから見れば教育委員会というのものもあるだろうし、両者が相乗効果を持つことでよくなるということもあると思う。

【委員】第2部の2(1)エで、「個人の学びへの支援」について、具体的にどのようなことを念頭に置いているのか。

【事務局】生涯学習センターでは、事前に団体登録いただいている方の利用が前提になっている。しかし、市民の方や生涯学習センター利用者懇談会の中で、個人の学びをする場所がほしいというご要望をいただいたりしているので、生涯学習センターにおいて、個人の方が学習するために使える部屋を開放している。そういったこともあり、プラン 2027 の中では、個人の学びへの支援というものを新たな視点として加えた。

【委員】現時点で具体化しているのは、場所の提供という形なのか。

【スポーツと文化部長】三鷹市はこれまで、どちらかというと団体を支援するということを継続的にやってきた。一方で、個人の方のニーズに応えていくということも、より幅広い市民の皆様のニーズに応えていくという視点では必要だろうと思うので、ソフトでもハードでも、いずれも個人への学びの支援ということについては課題として捉え、視点として記載した。

【委員】第2部の1(2)「領域別学習機会の提供」に、「障がい者への学びの支援」が新たに追加されているが、新たに加えられた経緯や具体的な施策の案があれば教えていただきたい。また、これだけ「支援」となっているが、何か意図があるのか。また、K P Iの中に具体的は数値を取って効果を確認していくとか、そういったことは今後考えているのか。

【スポーツと文化部長】障がい理解や障がい者の活動への支援というのは、スポーツと文化部全体で活動、施策を行っているが、どの分野でもとても重要であり、きちっと取り組んでいく表明をしていくということが大切だと認識している。例えば東京 2020 オリンピック・パラリンピックが東京で開催されて、その中でパラスポーツへの支援や障がい理解、また、芸術分野の中だと、アートの分野で障がい理解を進めていくとか、そのようなことの取組を始めている

ので、生涯学習の分野でもそのような視点というのは入れていくべきだろうと思っている。しかし、障がい者への学びの支援や障がい理解ということは、このプランの個別施策の中に入ってくるべきものだと思うが、どこに入れるのが正しいのか悩んでいるので、皆様からも改めてご意見をいただきたいと思っている。

また、障がい者の学びの支援や障がい理解という内容について、現在、具体的な施策をたくさんやっているわけではないので、K P Iの取り方をどうしていくのかというのは大きな課題だと思う。何らかの形で進めていくことを評価していきたいと思うので、K P Iが取れるようであれば取りたいと思うし、数字が見つからないということであれば、どのように評価をするのか、審議会の中でご議論いただければと思う。

【会長】今の話を聞くと2つの側面があると思う、1つは障がい者に対する理解で、障がい者でない方がそれを理解するための学びであったり、あるいは障がい者と障がい者でない方が一緒に学び合って相互理解を深めるとか、そうであればここに位置づくが、もう1つの障がい者の学びを支援するというのであれば、自主的な活動の支援の多様な学びへの支援に入るのかなという気もする。

【委員】プラン 2022 の第2部の4 (1)に出てくる「まちづくり」という言葉が、プラン 2027では出てこないが、なぜか。

【スポーツと文化部長】生涯学習によるまちづくりというところで見えていただくと、例えば、ボランティアの育成やスクール・コミュニティというようなキーワードが出ていると思う。この間の議論の中で、「学びと活動の循環」はとても重要なキーワードであり、そこに移行してきたというように考えていただければと思う。まちづくりという意味では同じだが、それが生涯学習の分野において、生涯学習でまちづくりをするってどういうことなのかといったときに、学んでいただき、それが活動に結びついて、社会に還元されて、また社会活動をする中で学びが必要になってから、また学びの場に戻ってくる、循環をしていくというところが、ある意味生涯学習によるまちづくりであると思っている。

【委員】2部の3 (1)ウの「人財リストの整備・活用」について、整備については登録者数などをK P Iとして取ることができると思うが、活用については何をもって活用されたというふうに捉えるのか。また、資料3-1で基本的なトピックスとしてD Xが挙げられているが、活用のところとコーディネート機能の充実とD Xだけ結びつけて考えられるのかなと思う。

【スポーツと文化部長】現状でいうと人財リストというのは、例えば、「人財バンクまちの先生」というリストを生涯学習センターで作成している。講師養成講座を受けた方が、講座終了後に希望があれば登録していただいている。その中で活用というと、今度はまちの先生に登録した方が実際に講座を実施して、提供側になる。今までは講座を受ける側だった方が、講座等を提供する側になるということで、ひとつ整備と活用というふうになっている。

もう少し広い目で見ると、今、個人情報のこともあり、どこまで人財リストを整備して、それが公開できるかという課題がある一方で、情報共有をしたり、例えばどこかで活動している方の情報をみんなで広く共有できるようなプラットフォームをつくるとか、そういうことが求められていると思う。それは、わかりやすい情報の提供にもつながるし、D Xにもつながっていくと思う。しかし、この4年間のうちに全部終わるかどうかはわからない。ただ、このプラ

ンの中で、そのような近未来がすぐに来るということを見越した準備をしていく必要があると思っています。

【副会長】人財リストが、例えば職場訪問のときや、学校で講師をお願いしたいときなどに、とても役立っている。

「個人への学びへの支援」について、例えば全てSNSなどオンラインでやり取りができるような時代になってしまうと、ホットラインが少なくなってしまう。学びたい人たちの受付窓口のようなホットラインがあるとよいと思った。

障がい者への学びの支援だが、「障がい者への」となると、何か差別的な、そのようなニュアンスも持ってしまうのではないかと思う。多様な学びということであれば、いろいろな人たちが一緒に学び合える、そういう場のほうが多様な学びになろうかと思うので、「障がい者への」というよりも、一緒に学ぶ機会を提供していくという、何かそのような視点でこのところは捉えていってほしいと思った。

【スポーツと文化部長】障がいの有無に関わらずとか、インクルーシブな学びの場の提供とか、そのようなキーワードで発信していくということもあり得ると思うので、検討する。

【委員】KGIについては、市民の割合がKGIの目指すところということになっていて、KPIについては、参加者数というのと講座数というもので測るというのがあるが、講座数というものが市民の割合につながっていくのか。

【スポーツと文化部長】こちらから提供しているものの数というのは取りやすいので、数値として着実に出せることもあり、記載しているものの大半は、数値として出しやすいものになっている。4年に一度行う市民満足度調査でわかる数値や、毎年の報告書に必ずある数値なので、安定的に取れるというものを中心に記載している。よって、本当にこのKGIを支えるKPIになるのかという視点については、ご意見をいただきたいと思っている。

【委員】「学びと活動の循環」の創出～いかしたい～について、「学びと活動の橋渡し」の中のKPIで、「みたか地域ポイント」事業への参加者数とあるが、地域ポイントが付与されるもの全てが生涯学習につながっていくのかということ、それは範囲が広過ぎると思う。

【スポーツと文化部長】「みたか地域ポイント」事業を指標に取るかという課題はあると思う。しかし、「みたか地域ポイント」は新しい視点なので、KPIを取るとしたら、ここに入れておくべきだと思っている。たしかに、生涯学習という側面から考えると違うということはあると思うので、例えば同じ地域ポイントであっても、生涯学習関連の事業で地域ポイントをもらった人の割合を取ることも可能だとは思う。この4年間の実績としてきちっと上がってくる数値かどうかという視点もあるので、数値を取ってみて、指標になり得るかどうかというのを判断したいと思う。

【委員】「わかりやすい情報の提供」について、ホームページを見る人は60代以上の人が主流で、若い人はあまり見ない。Twitterは60代のすぐ下ぐらいの世代の人が多くて、その下の世代はあまり使わない。Instagramなどはちょうど40代ぐらいで、その下の世代はTikTokなどであり、使う媒体を工夫する必要がある。

【会長】どうしても行政が出すSNSは利用が難しいこともあるので、市民の中で勝手に広がるSNSをどう刺激するかというのがポイントになる気がする。

【委員】人と直接しゃべりたいという声を聞くこともあるので、そこも捨てられない部分であると思う。

【委員】アウトカムの指標を探すのは難しいと思うが、何か見つけられるとよい。全然関係ない指標で評価しても、結局前に進んでいけないので、何かよいアウトカムを探せるとよい。

【委員】プラン 2022 における「多様な学習機会の提供」が、プラン 2027 では「領域別学習機会の提供」となっているが、何か理由があるのか。また、「領域別学習機会の提供」の中に「障がい者への学びの支援」が入るのは少し違和感があるので、インクルーシブな視点でどこか入れていただきたと思った。

令和 6 年 4 月に開催された都市社連協の研修会において、障がい者が普通のところでの学習の機会がほとんどないということを学んだので、そういうのを共有していければと思った。

【スポーツと文化部長】内容が大きく変わっているわけではないが、場の機会の提供という中で、審議会からの意見書で、ライフステージ別学習機会の提供という重要なキーワードをいたしたので、それと相對する概念として、領域別学習機会の提供としている。

### 3 報告

4 月 20 日（土）に、都市社連協の定期総会が開催された。定期総会の中で、三鷹市から 5 人の委員の方が表彰を受けられた。

### 4 その他

今回は、令和 6 年 7 月 18 日（木）午後 6 時 30 分から、生涯学習センターで開催予定である。

—閉会—